

JAやまがた

YAMAGATA KAMINOYAMA YAMANOE NAKAYAMA

被災地石巻市で 芋煮の炊き出し支援



JA YAMAGATA MONTHLY
http://www.jayamagata.or.jp

October 2011 **10** [神無月]

広報やまがた 2011/10月号 発行/山形県農業協同組合 〒990-8533 山形市東藤町1-12-35 TEL:023-641-3121 FAX:023-631-4714



自動車共済見積り キャンペーン



新規でお見積りいただいた方に 抽選で豪華賞品をプレゼント!!

キャンペーン期間

平成23年9月1日から平成24年2月末日まで(6か月間)

キャンペーン対象者

現在、JA自動車共済に加入されていない方で、JA自動車共済の新規契約お見積りをしていただいたお客様
※申込み当たっては、現在ご加入の契約内容が分かる証券や継続案内ハガキ等の写しが必要となります。
※JAの役員およびその家族は対象外となります。

- ✓手頃な掛金!
- ✓安心の充実保障!
- ✓頼れる各種サービス!

プレゼント

ボタンひとつで勝手にお掃除



合計
6名様
毎月1名様×6か月

●iRobot
ルンバ

毎日のお掃除は
ルンバにおまかせ。

キャンペーン期間中、JA自動車共済を新規でお見積りして
いただいた方の中から、毎月抽選で111名様(合計666名
様)に賞品を差し上げます!!



合計
60名様
毎月10名様×6か月

●SHARP 車載用
プラズマクラスター
イオン発生機

車内のニオイを
取り除き、快適な
移動空間に。



●JA共済オリジナル
アンパンマン
ストラップ

合計
600名様
毎月100名様×6か月

非売品

※写真はイメージです。
実際の賞品とは異なる場合が
あります。

JA自動車共済で
今一番のおすすめ

家庭用自動車共済
フルマスター

●お問い合わせ

JAやまがた共済部 自動車推進課
またはお近くの JAやまがた各支店へ

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

この機会にぜひ お見積り下さい!

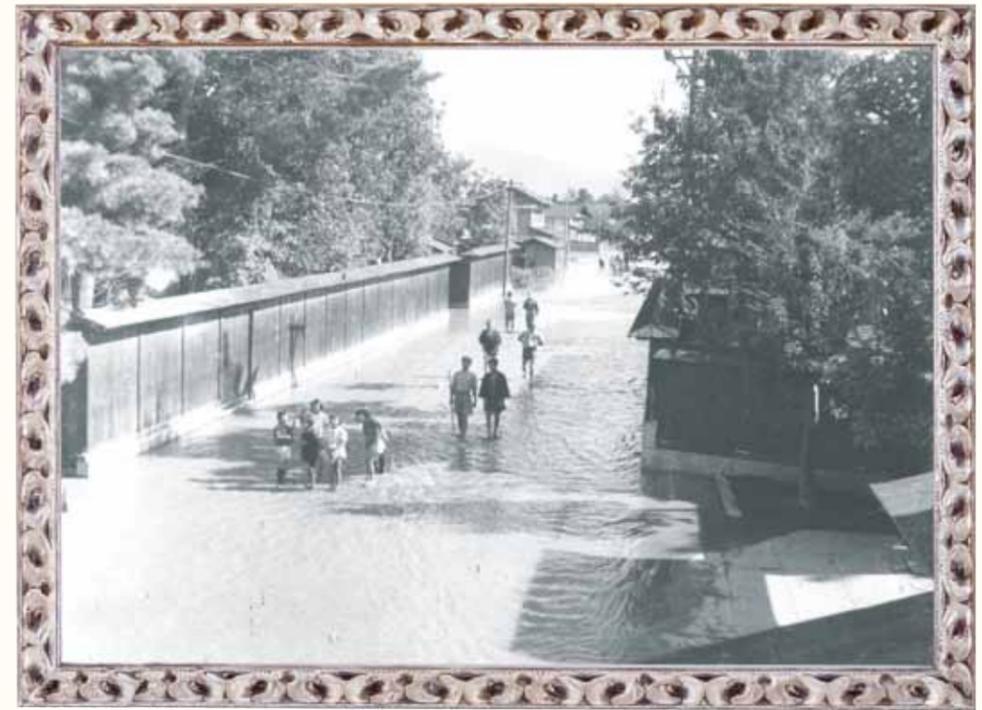
JA共済

11069990069



懐かしの写真

昭和23年9月17日午後3時
洪水（新田町）
〈写真提供：中山町歴史民俗資料館所蔵〉



JAやまがた 10 October 2011 目次

- 02 懐かしの写真（昭和23年 洪水 新田町）
- 03 やまがた彩時季「秋の馬見ヶ崎川」
- 04 営農情報
- 06 特集 被災地石巻市で 芋煮の炊き出し支援
- 08 JA News Topics
- 10 仕事訪問
- 11 ジェーエー・エッセー
- 12 インフォメーション
- 14 料理 藤木俊則×サツマイモ
- 15 イベント情報／アグリくん

今月の表紙



上山市
山口^{ひさ}閣さん・つね子さん、
JAやまがた南部営農センター
高橋広行さん

山口さんでは稲作2.5haと果樹90aを栽培し、米・さくらんぼ・デラウェア・大粒系ぶどう・すももなどを出荷しています。20年ほど前に農業に専念、毎日忙しい合間のカラオケが趣味で、「美味しい農作物をつくりたい」と、奥様のつね子さんとともに、にこやかにお話ししてくださいました。

秋の馬見ヶ崎川

やまがた 彩時季

奥羽山脈を源とする馬見ヶ崎川。

昔は暴れ川として知られ、江戸時代の治水工事により、現在の親水に適した川となりました。

秋も本番になると河川敷では「日本一の芋煮会フェスティバル」がひらかれ、芋煮会を楽しむたくさんの方が賑わいます。

河原には公園やグラウンド、サイクリングコースが整備されており、四季折々に市民に親しまれています。

土壌診断で健全な土を維持しましょう

ハウスの土を土壌分析してみますと、りん酸、カリ、石灰、苦土の過剰値がほとんどの圃場が出てきます。生育の旺盛さに欠けていたり秀品率が低下して土の状態がおかしいのか連作による原因かと疑問に感じて栽培されている方も多いはず。

上記の過剰な肥料は取り除くことが出来ないだけに土壌診断を受け、土の状態を知ったうえで適正な処置を取ることが高品質栽培には欠かせません。

今後の施肥は過剰成分が無い又は微小な肥料がJAに揃っておりますので、土壌診断に添った適正な肥料を使用します。

また深耕、完熟堆肥を施用することで土を団粒化させ酸素を土の中まで送るようにします。

アヅミン等で腐植酸を供給し有効菌を増やし根量、細根量を旺盛にすることも重要です。但し石灰量が多少多くともシェルフミンなどの有機質の石灰は植物に必要な量として吸収されますので少量投与します。

土壌診断により土の元気を維持させ、生産コストの低減を図りましょう。

ハウスの冬支度は早めに

あつという間にジャンパーが恋しい時期になりました。冬期栽培をおこなうハウスは早めに点検をしておきましょう。

ビニール破損箇所の補修、空気漏れの有無、マイカ線の劣化、内張り資材、内張りサイド資材の点検など忘れずに。また、暖房機の清掃は年に一度必ずおこなひましょう。排気部、噴射ノズルの清掃、オイルタンクの底部に溜まった不純物の除去などをおこなうことにより耐用年数の延長と低燃料につながります。

平成24年用 春肥料かたらい訪問運動 予約取りまとめ実施中

ただいまJAやまがたでは、平成24年用春肥料の全職員による「かたらい訪問運動」を実施しております。予約奨励措置といたしまして、平成23年11月～12月配送分の肥料に対し、予約価格の2%値引（早期配送奨励）での対応をいたします。

また、今回はJAやまがた合併15周年記念特別価格といたしまして、下記JAやまがたオリジナル肥料（水稲用・果樹用・野菜用）を、期日まで予約申込された方に据置き価格で対応いたします。

対象肥料

- 水稲用 はえぬきワンR
- 果樹用 フルーツ有機80、有機50、ぶどう専用、ぼかしの大將
- 野菜用 やさい1号、やさい2号、有機100、有機50、有機NK73、有機NP66、ぼかしの源さん、ロング有機入り野菜100、ロング有機入り野菜140

肥料原料の国際市況が上昇しており、春肥料価格が値上がりする情勢となっておりますので、是非この機会に予約申込をお願い致します。予約申込みについては、私たちきずな号地区担当者までご連絡下さい。

なお、配送センターでは、11月～12月の早期配送奨励分より11月上旬から順次配送いたしますので、置き場所を確保くださるようお願い致します。

営農情報 Pickup!



西部営農センター 営農企画指導員
山口 正昭
携帯番号 080-1846-4368

生産資材 News!



グリーンやまがた西部 きずな号担当
岡崎 直人
携帯番号 080-1678-0154

平成23年度 JAやまがた米全量集荷運動 肥料・農薬かたらい訪問運動 推進大会開催!

大会スローガン

- 1.『消費者に信頼されるうまい米』の安定供給を図ろう
- 1.安全・安心な『JAやまがた』のブランド確立を図ろう
- 1.平成23年度産米契約数量227,000俵、全量集荷を達成しよう
- 1.安全・安心な農産物生産のため、肥料・農薬はJA全利用を図ろう

9月8日に山形市古館の協同の杜で、平成23年度JAやまがた米全量集荷運動、肥料・農薬かたらい訪問運動推進大会が開催されました。

大会には、生産者や行政関係者、当JA役員など約400名が参加しました。

この席で長澤豊組合長は「県内の水稲作柄は「平年並み」と見込まれているが、販売環境は3.11の大震災による福島原発事故の放射能汚染問題で混沌とした状況にある。安全・安心な「やまがた県産米」のブランド確立のため、米の放射能物質調査を実施し、JAやまがたとして更なる有利販売、徹底した生産販売対策を講じていく」とあいさつしました。

大会では参加者全員で、基幹品種「はえぬき」と新品種「つや姫」の「特A」ランクを目指したうまい売れる米づくりを基本に、安全・安心な「JAやまがた米」の銘柄確立と安定供給に努め、「むすびつき米」の取扱拡大に取り組むことを確認しました。

さらに、3月の震災による農畜産物の生産・出荷・販売等における環境変化に対し、関係機関との連携を深め「食の安全性の確保」を最重視した慎重な対応を進めていくことで一致しました。

また、施肥設計基準・病害虫防除基準に基づく安全使用体制の充実を図り、品目技術情報の提供し組合員の安定した農業経営を守るために、昨年同様、「かたらい訪問推進運動」を今年度も実施します。

また、大会終盤には、東京都に本社がある木徳神糧株式会社より金子泰彦さんを講師にむかえ「米の需要動向について」と題した基調講演が行われ参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

平成23年度産米 検査スタートしました!



9月22日、上山市の南部営農センター管内3つのライスセンターで平成23年度産米の初検査が行われました。この日は主力のはえぬき1760俵（1俵60キロ）をはじめ、あきたこまち150俵、ひとめぼれ60俵が集荷され、検査の結果、全量が1等米に格付けされました。

検査は11月中旬までを予定し、JAやまがたでは14人の農産物検査員が整粒、斑点米、被害粒などについて細かく検査し判定します。

「今年度米は、夏場の天候が良かったことで大変登熟している。品質、整粒ともに申し分ない仕上がりがだ。生産者の方にはJAへの米全量出荷をお願いしたい。」と担当者は今年度米に期待を寄せています。



営農情報

10月上旬～11月中旬

- ▶米買入検査 9月22日～11月11日 米穀園芸課・各営農センター
- ▶ラ・フランス収穫適期判定会 10月上旬 北部営農センター
- ▶大豆刈取り判定会 10月中旬 中央・北部営農センター
- ▶南部ハウスさくらんぼ反省検討会 10月中旬 南部営農センター
- ▶第5回一升餅背負いの集い 10月15日 販売開発課
- ▶第11回山形市農畜産物フェスティバル 10月15日 中央営農センター
- ▶トマト共選部 精算販売報告会 10月17日 中央営農センター
- ▶ぶどう出荷反省検討会 10月20日 西部営農センター
- ▶JAやまがた秋冬果実出荷協議会 10月21日 米穀園芸課・各営農センター
- ▶とやま食の王国フェスタ消費宣伝参加 10月29日～30日 中央営農センター
- ▶上市市ツールドラフランス大会 農産物販売 11月3日 南部営農センター
- ▶かわさき市民祭り 消費宣伝参加 11月4日～6日 中央営農センター
- ▶上市市産業祭り 農産物販売 11月5日～6日 南部営農センター
- ▶秋冬野菜目揃会 11月上旬 中央営農センター
- ▶そば買入検査 11月上旬 西部営農センター
- ▶啓翁桜圃場巡回 11月上旬 西部営農センター
- ▶ぶどう剪定講習会 11月上旬 西部営農センター
- ▶航空防除精算会 11月中旬 西部営農センター

【特集】被災地石巻市で 芋煮の炊き出し支援



がんばろう東北・まけるな大原小学校
JAやまがた

**JAやまがたは
東日本大震災で被災された方たちを、
継続して支援していきます！**

東日本大震災で被災された方たちを支援するため、当JAでは先日9月17日、石巻市立大原小学校で炊き出しを行いました。4月8日に石巻市立奇磯小学校で行ったのに続く2回目の炊き出しでしたが、被災地は震災から半年以上経っても復興にはほど遠く、被災者の方たちは不便で苦しい生活を強いられています。今回はその2回目の炊き出しに同行しながら、支援活動の中心となって活動している本店経営管理部総務課の羽角克之課長に、JAやまがたとしての復興支援への考え方や今後についてお話を伺ってきました。

「今日は朝早くからお疲れ様です。今回は被災地で2回目の炊き出しを行うということで、牡鹿半島にある大原小学校まで来たわけですが、まず最初に、今回の震災においてなぜJAが炊き出しをはじめとした様々な支援を積極的に行うことになったのか、その経緯から教えてくださいませんか。」

羽角 3月11日にあのような大地震があり、誰も見たことのない未曾有の大津波が発生して、東北から関東にかけての太平洋沿岸地域は壊滅的な被害を受けました。あの映像やニュースを見て、誰でも被災した人々を助けたい、力になりたいと思うのは当たり前のことだと思っただけです。実際、多くの人が募金をしたり、ボランティアで被災地に行ったりしています。それで当JAとしてですが、震災直後から行政をはじめとした各方面から支援の要請がありました。一方、当JAとしては平成11年に石巻市の表浜漁協さんと姉妹漁協関係協定を結んでいたこともあり、その表浜漁協さんを支援すべきだろうと。

それで先方と連絡を取って、4月8日の奇磯小学校で炊き出しが決まったわけです。

「その後も野菜を送ったり、義援金を送ったりもありました。」

羽角 そうですね。野菜については広域野菜部会や各営農センターの野菜組織の皆さんが中心になっていただきました。義援金では組合員の皆さんをはじめ役員や青年部の皆さん、上市市航空防除組合の皆さんなど、関係団体の皆様からお預かりしたものを、JA山形中央会として長澤組合長が代表して山新放送愛の事業団に寄託していただきました。金額は実に600万円に上りました。その後も広域さくらんぼ部会や広域ブドウ部会の皆さんがさくらんぼ、テラウエアを被災地に届けたり…。内容は様々ですが、当JA全体として継続した支援がなされていると思います。



「それで、今回の大原小学校での炊き出しですが、これも表浜漁協さんとの関係なのですか？」

羽角 表浜漁協さんは平成19年に宮城県内の沿海31漁協の合併で表浜支所となりましたが、やはりそちらの関係者の方からお話をいただきました。私が聞いたところでは、こちらの大原小学校にはいま谷川小学校というもう一つの小学校が借りる形で入っているそうなんです。今日はその2つの小学校合同の運動会があるということです。児童数は大原小学校が25名、谷川小学校が7名と聞いています。児童も含め、津波で亡くなった方も多数いるし、ここでの生活が難しくなっている方に避難している方たちも数多くいるそうです。そんな中で運動会を開くのはどうかという意見もあったそうですが、最終的には地域の復興に向けてできるだけ多くの人がここに集まり、運動会を開催して地域を元気づけようということになったそうです。それで、その運動会の際に炊き出しをして参加者を元気づけてくれないうかが、当方にお話があり、この期待にお応えしたという次第です。

「そうですか、それでは単なる炊き出しではなく、いろいろな深い意味のある運動会での炊き出しですね。」



今回お話を伺った本店経営管理部 総務課の羽角克之課長。当JAの東日本大震災緊急支援本部・委員も務める。

羽角 東日本大震災における当JAの支援活動は、今回で8回目になります。長澤組合長は今後も、継続してやっていく、といわれています。たった何回かのパフオーマンズ的な支援に終わるのではなく、被災地が復興するまで継続して支援していく。これについては役員の方たちも職員も心はひとつだと思います。

「本当にそうですね。時間の経過とともに世間はだんだん被災地のことを忘れがちになりますが、忘れてはいけませんね。それに自然災害はいつ何時起こるかわからない。人ごとではないんですものね。」

羽角 本当に人ごとではありません。組合員の皆様や職員の皆様にも、この場をお借りして今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。

「忙しい中ありがとうございます。」



福祉センター青田「梅櫻ミニコンサート」 キーボードとマリンバの音色にうっとり

福祉センター青田にて8月22日に、南金井支店の梅津実支店長と櫻庭彩加さんによる「梅櫻ミニコンサート」が開催されました。コンサート名は二人の名字から。梅津支店長はキーボード、櫻庭さんはマリンバを演奏。今回はじめて組んだ二人でしたが、日頃の練習の甲斐があつて息もぴったり。「聞いてくださる方のところに響く演奏」をコンセプトに、親しみやすい曲目を選曲し「夏の思い出」や「ふるさと」「もののけ姫のテーマ」「メモリー」など数曲を披露。利用者の皆さんは、懐かしい曲を口ずさんだりしながら、癒しのひとときを過ごしました。櫻庭さんは、「今後、ミニコンサートを開きたいです」と話してくれました。



デラウェア食べてJ1残留へ！ モンテディオ山形にデラウェアを贈呈

モンテディオ山形のJ1公式戦ホームゲーム、清水エスパルス戦が8月24日、天童市のNDソフトスタジアムで開催されました。この日は「山形市応援デー」ということで、試合前のセレモニーで山形市の特産品贈呈が行われ、当JAからは後藤秀司常務理事が出席して、モンテディオ山形の選手に山形産デラウェア30kgを手渡しました。後藤常務は「山形特産のおいしいデラウェアを食べて、残り11試合を勝ち抜き、ぜひJ1残留を果たしてください」とモンテディオの選手たちを激励。会場から大きな拍手をいただけてきました。モンテディオ山形、みんな応援しましょう。



岩手県農業研究センター本部で 千歳支店の組織代表者が視察研修会

JAやまがた千歳支店の組織代表者11名は8月24日と25日の2日間、岩手県農業研究センター本部（岩手県北上市）で視察研修会を行いました。同センターは農畜産物全般の試験・研究を行う施設ですが、水稲については作柄要因の解析や奨励品種の管理を行い、寒さや病気に強い品種開発を目指しているとのこと。

また野菜では省力・低コストの生産技術研究について説明を受け、トマトとキュウリについては、長期安定収穫可能な栽培技術や効率的施肥法、土壌病害の被害軽減等についてお話を聞くことができ、有意義な研修会になりました。



アンパンマンと交通マナーを学ぼう！ 約2000人が参加して大盛況

山形市七日町にある山形県民会館で8月27日、当JAが主催して「JA共済アンパンマン交通安全全キャラバン」を開催しました。この催しは、JA共済のイメージキャラクターであるアンパンマンと一緒に歌ったり踊ったりながら、子どもたちに交通マナーやルールを学んでもらうこと目的に全国展開されているものです。この日は午前と午後の2回のステージに約2000人が参加しました。アンパンマンの他にバイキンマンとメロンパンナちゃんも登場し、会場の子どもたちは大喜び。会場が一体になって歌やダンス、クイズで盛り上がりました。



第4回わんぱくあぐりスクール 山川牧場で乳搾りを体験！

今年度4回目となる「わんぱくあぐりスクール」が8月27日、上市市にある山川牧場（蔵王マウンテンファーム）を会場に、小学3年生から6年生の児童約50人が参加して開催されました。この日は蔵王マウンテンファームの山川孔子さんから3人が講師となり、牧場内での注意事項や、牧場の1日、牧場にいる動物の特徴などについて児童たちにわかりやすくお話ししてくれました。児童たちは、自分たちで持ってきたエサを牛やヤギ



に与えたり、メインイベントの乳搾りを体験したりと大はしゃぎ。ほとんどの児童は牛やヤギを見ることが触れることが初体験で、自分より大きい動物に驚いている様子でした。質問コーナーでは「牛は1日どれくらいのお乳が出るのですか？」「牛の嫌いな食べ物は何ですか？」など、次々に質問が飛び交い、大変有意義な学習会となりました。また、手づくりの生バター作成にも取り組み、できたばかりの生バターを昼食で試食した児童たちは、次々に「おいしい！」「甘い！」と自分で作った生バターに満足していました。午後からは、実習畑での大根の種まき作業を体験。今回播種した大根は11月に収穫し、一部を東日本大震災で被災された地域へ支援物資として届ける予定です。

村木沢の畑で里芋3トンを収穫 芋煮会フェスでおいしい芋煮になりました

山形市村木沢にある畑で8月27日、山形の秋の風物詩「日本一の芋煮会フェスティバル」で使用する里芋の収穫作業が行われました。この日の収穫作業に集まったのは、山形市商工会議所青年部の皆さんをはじめ、JAやまがた西部営農センター里芋部会のメンバー、当JAやまがた職員、一般ボランティアの皆さんなど約160名。また定植の時もお手伝いしてくれた小学生チーム「IMOCO」も参加してくれて、楽しく賑やかな収穫となりました。この日収穫した里芋は約3トんで、9月4日のフェスティバルではおいしい芋煮になり、来場者の舌を楽しませてくれました。



女性の目線でJAに元気注入！ 女性部員56名と組合長が農政懇談会

JAやまがた本店で9月13日、JAやまがた女性部（堀井信子部長）と長澤豊組合長との農政懇談会が開かれました。この懇談会は、女性ならではの知恵や考え方を今後の組合運営に活用しようと、今回初めて企画されたもので、女性部員56名が参加しました。初めに長澤組合長が、JAや日本が抱えている農業・農政問題について講演し、「農業や地域社会の様々な問題解決には女性からの目線が欲しい」と、女性部員に協力を要請。その後、組合長を囲み意見交換が行われました。皆さんからは多くの意見が出され、熱気ある有意義な懇談会となりました。



この特別な夏のための準備は、6月に娘が帰省する前の5月から始まった。昨秋、病気で寝ている時、ガーデン作りのテレビ番組に癒されたことから、夏野菜を少しばかり作ってみようかと決意！ まずは造園屋さんにお願いで、荒れ放題の庭を整備し土を入れてもらった。これは2ヶ月以上も子育てのために家にこもりきりになる娘が、少しでも快適に過ごせるようにとの作戦でもあった。

私の初めての出産、子育ては、真冬の吹雪に閉ざされた米沢のこと。今とは違い、夜中、底冷えのする部屋での3時間おきの授乳とおむつ替え。30年以上前の20代初めの今も消えない辛く切ない記憶である。聞けばロシアでは、週末に家庭菜園付きの簡素な別荘（ダーチャ）で過ごすのが一般的らしい。ソ連崩壊

真夏のダーチャ大作戦

文／長沢 英子

末期、市場の品薄の混乱時にも、このダーチャで時給自足をしていた国民らは、少しも慌てなかつたとか。

さっそく知り合いのついでミニトマト、キャベツ、ナス、ピーマンの苗を植え、さらに料理にすぐ使えるミントやバジル、ローズマリーなどのハーブや、世間並みに朝顔とゴーヤの種をまいた。その後も農協の産直センターに行くたびに植えるものを物色して買い込んでいった。元々あった立派な柿の木と梅の木とブラックベリーの効果もあって、7月に入ると家のテラスの回りは緑におおわれた。町なかのなごにまるで長年憧れたロシアのダーチャにいるよう。私と娘は、緑の手入れをしながら静かにその時を待った。

7月の20日過ぎに、我がダーチャに赤ちゃんとい供に退院してきた娘は、30年前の私のような悲壮感は無く、初めての子育てを心底楽しんでるように見えた。畑から採れる野菜を、手を変え品を変えて毎日料理する私の視線の先には、テラスの緑の中で子供を抱えている幸せそうな娘の姿があった。

母の初盆がやってきて、私はお仏壇に向かって「お母さん、私のダーチャ作戦は大成功だよ！」とそっと手を合わせた。

猛暑のさなかに母が急逝してから早くも一年が過ぎ去った。今年の夏は、初めてのお産のために娘が東京から山形に帰ってきた。昨年は死に向かっていた母と二人、濃密な最期の時を共有し、取り残された私はバセドウ病が悪化して、秋の間寝たきりの生活を送っていた。しかし11月の半ば、娘と息子のお嫁さんから同時にもらった二つの懐妊のニュース！ それが無らざるも生き延びる新しい目標となって、気持ちは少しづつ上向いていった。

常に戦闘態勢で生きてきた自分主役の人生から突然降板させられ、母と娘のために脇役に回ったようなほっとした気分。いつの間にかそんな立場が居心地がいいと思える年になったのだろうか

思えば忙しい仕事をしながら、三人の子供たちを無事に育て上げられたのも、折につけ米沢から汽車で通ってくれた母のおかげ。今度は私が娘を助ける番がやってきたのである。



illustration : Kikuchi Toshiaki

JAの仕事訪問

12 明治支店

地域とグッド
コミュニケーション
皆様の期待と信頼に応え、
地域社会に共生と貢献する
JAづくりを目指して。



明治支店
支店長 滝口金右衛門さん

遊休農地耕作を請け負う「まもるくん」。
地域の農地と農業を守る力になっていきたい！



管内の行事などの写真を展示

— それでは明治支店の概要と管内の農業の特色から教えてください。

滝口 当支店の職員は金融共済課6名と私の総勢7名です。管轄エリアは灰塚・中野目・渋江となります。昔から果樹栽培が盛んなところで、サクランボ、ラフランス、リンゴ、スモモ等を中心に栽培されています。他に水田もありますが、野菜や花卉栽培に力を入れている組合員さんもいて、皆さんそれぞれにがんばっております。

— 支店運営でテーマにしていること、力を入れていることはありますか？

滝口 力を入れているのは管内の耕作放棄地を減らし、管内の農地と農業を守ることです。明治地区も他の地区と同様に、組合員さんの高齢化や後継者不足で耕作放棄地が増加傾向にあります。それを防ぐために今年度から、遊休農地の耕作を請け負う「明治地区農地受託組合」とい

う組織を立ち上げました。別名「まもるくん」という愛称で、いま告知に努めているところ。地域との交流という点ではどんなことをされていますか？

滝口 明治支店ではかなり前から、近くにある明治小学校の食農教育に協力してきており、いまも3年生のリンゴ栽培、5年生の米作り、6年生のそば栽培の体験指導に当たっています。実際の指導はリンゴが中野目の鈴木弘さん、米作りが青年部、そばはそば組合の皆さんにやっていたいでいます。

— 最後に何か一言お願いできますか？

滝口 はい、明治支店は来年度に出羽支店、大郷支店との統合が決まっています。組合員さんや地域の皆さんにはこれまで以上に充実したサービスに努めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



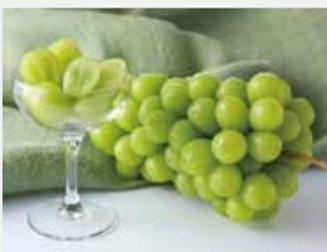
明治小6年生のそば打ち体験



明治小3年生のりんご栽培



JAやまがた 銀座SHOPレポート10月



<10月販売予定>

- ・平成23年度産新米つや姫を提供
- ・りんご、西洋なし各種の試食販売
- ・「ストレート果汁100%ジュース“山形代表”」、 「つや姫」を好評販売中

<組合員の皆様へご案内>

JAやまがた銀座ショップは、当JAが東京・銀座にある「旬銀座贅沢倶楽部（和食レストラン）」の店内一部をお借りし、農産物の展示、販売をしているブースです。この旬銀座贅沢倶楽部では料理の食材として当JAの旬の農産物を使っていたり山形の食材を広くPRしています。

お近くにお越しの際は、お食事も併せて、是非お立ち寄りください。

旬銀座贅沢倶楽部

〒104-0061 東京都中央区銀座5-5-11-7F
TEL.03-3573-7085
営業時間 11:30~14:00 / 17:30~21:00 年中無休

経営管理部 東京営業所 担当 大道寺



イベント情報 (10/中~11/15)

山形市
上山市
山辺町
中山町

| | |
|---------------------|---|
| 10月中旬 | 山形市伝統的工芸品まつり (山形市) |
| 10/中~11/上 | 上山菊まつり (上山市 上山城・かみのやま温泉駅・各旅館) |
| 10/15 (土) ~23日 (日) | 彩どりの庭 (上山市 蔵王ペンション村) |
| 10/21 (金) | ベルリン・パロック・ゾリステンwith榎本大進 (山形テルサ) |
| 10/22 (土) ~23 (日) | 第21回 カローラ山形&山形ダイハツU-Car 合同フェア (山形ビッグウイング) |
| 10/22 (土) ~23 (日) | 第28回なるほど住まいるフェア (山形ビッグウイング) |
| 10/23 (日) | きたやまおさむ・小室等トーク&ライブ (山形ビッグウイング) |
| 10/23 (日) | 山形三曲協会 |
| 10/29 (土) | 小椋 佳 歌談の会 (山形県民会館) |
| 10/22 (土) ~11/6 (日) | 再興第96回 院展 山形展 (山形美術館) |
| 10/29 (土) ~30 (日) | エコライフやまがた2011 (仮称) (山形ビッグウイング) |
| 10/29 (土) ~30 (日) | MOA美術館山形県児童作品展 (山形美術館) |
| 10/31 (月) | 渡辺貞夫クインテット2011 in山形 (山形テルサ) |
| 11月上旬 | 上山市総合産業まつり (上山市) |
| 11/3 (木) | やまのベ・まるごと・フェスティバル (山辺町) |
| 11/3 (木) ~6 (日) | 翔龍会全国書道展 (山形美術館) |
| 11/6 (日) | マキシム ピアノ・ソロ ジャパンツアー2011 (山形テルサ) |
| 11/6 (日) | 山形B級グルメフェスティバル (仮称) (山形ビッグウイング) |
| 11/10 (木) ~13 (日) | 読書法展東北展 (山形美術館) |
| 11/11 (金) ~13 (日) | きになる日立のきになるフェア (山形ビッグウイング) |
| 11/11 (金) ~13 (日) | 山形ビッグ中古車フェア (山形ビッグウイング) |
| 11/12 (土) ~13 (日) | オール電化フェア (仮称) (山形ビッグウイング) |
| 11/16 (水) ~20 (日) | 北展 (公募展) (山形美術館) |
| 11/16 (水) ~20 (日) | 山形市芸文協総合展覧会 (山形美術館) |

パズル? 頭の体操

プレゼント
パズルの正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼント。当選者は発送をもってかえさせていただきます。

モデル募集
広報誌の表紙を飾りませんか? プロの撮影スタッフがご自宅まで伺います。くわしくはJAやまがた総合企画広報課 023-624-8265 までお気軽に。

応募方法
左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。締め切りは、10月17日(当日消印有効)です。どしどしご応募下さい。

宛先
〒990-8535
山形市旅籠町一丁目12-35
電話 023-624-8265
F A X 023-631-4714
Eメール kikakukani@jayamagata.or.jp

10月 990-8535
JA やまがた 一丁目12-35
広報 クイズ 係 行

① 答え
② 当紙へのご意見やご要望、読者のひらばへの一言
③ 住所・氏名 電話番号 (当紙の編集以外には使用いたしません)

パズル? 頭の体操 9月号のクイズの答えは「キリギリス」でした。

読者のひろば

◇私の実家では抑制キュウリ、トマトを栽培しています。子供と手伝い(ジャマ?)に行っています。両親は仕事にならないけれど、孫が来るのを喜んでくれています。(山形市漆山 Hさん)

◇地産地食の料理コーナーについて、農家の方々の「ウチゴハン」のような料理を紹介してくれるといいと思います。(上山市東町 Aさん)

◇毎日毎日暑い日が続く、早く雨が降らないかと空を見上げて待っている私です。(上山市金瓶 Aさん)

◇あとがき
読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋…。なにをするのも気持ちのいい季節です。今年の「つや姫」、楽しみだなあ。(食べ過ぎに注意!)

【藤木 俊則】

高校を卒業後、18歳で料理の世界に入り、東京丸の内ホテルや千葉の金閣、川口の江南春などで中華料理を修業。その後帰郷して昭和57年に「中華料理 江南春」を開店する。料理は本格的な中華の一品料理からご飯物、麺類、点心、デザートと大変豊富。40名までの団体利用もできる。オードブルや各種一品料理のテイクアウトも好評。山形市江南4-2-30、電話023-684-4837

【サツマイモの地瓜春巻】

ディーグリチュンジュン

●材料 (4~5人分)
サツマイモ...300g
バナナ...200g
小豆餡...100g
春巻きの皮 (20cm四方の物) ...10枚
小麦粉...少々 (具を包む時に、春巻きの皮はがれないように水で溶いて糊として使う)

●作り方
①サツマイモは長さ8cmの拍子木切りにし、3分ほど蒸して冷ましておく。バナナも同様に切りそろえておく。
②小豆餡もサツマイモの大きさに合わせて形を整えておく (1本10g程度)。
③春巻きの皮に①と②を並べて包み込み、サラダ油でキツネ色に揚げる。
④半分に切って盛り付ける。

★今月ご紹介した料理は、コース料理の中で10月末まで食べることができます。

★10月のあなたの運勢★

モナ・カサンドラ

| | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|
| <p>3/21~4/19 牡羊座 【全体運】浮き沈みがあるものの、心にゆとりを持って過ごせば、運気回復へ。芸術など、美しいものに触れ、気分転換を【健康運】積極的に体を動かすことで健康体に【幸運を呼ぶ食べ物】カリン</p> | <p>4/20~5/20 牡牛座 【全体運】神経質になりやすいので、大らかな気持ちを忘れないで、趣味や習いに意識を向けると、気が上向きそう【健康運】うっかりけがなどをしないよう、慎重に【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ</p> | <p>5/21~6/21 双子座 【全体運】楽しいことに縁がある月。興味を引かれるものがあったら、前向きに挑戦してみてください。旅行やドライブもお勧め【健康運】口コミで話題の健康法に注目すると幸運【幸運を呼ぶ食べ物】サツマイモ</p> | <p>6/22~7/22 蟹座 【全体運】ちょっとしたことでもライラしてしまいがち。笑顔を手掛けて、リラックスするには、一人の時間を大切に【健康運】飲み過ぎに用心して、適度な運動も必須【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ</p> | <p>7/23~8/22 獅子座 【全体運】コミュニケーション運が活性化。初対面の相手とも楽しく会話できるはず。サークルや地域活動に参加してみよう【健康運】ゆったりと過ごせば、体調に好影響あり【幸運を呼ぶ食べ物】リンゴ</p> | <p>8/23~9/22 乙女座 【全体運】マイペースに過ごせる時期。やるべき作業を終えたら、好きなことに時間をかけてみて。紅茶に凝るのもグッド【健康運】生活のリズムを大事にして、無理は禁物【幸運を呼ぶ食べ物】カブ</p> |
| <p>9/23~10/23 天秤座 【全体運】何事にも意欲的に取り組めます。新しいことを始めるのに最適なため、未体験の事柄にも思い切ってぶつかって【健康運】軽い運動が、健康をキープするポイントに【幸運を呼ぶ食べ物】シイタケ</p> | <p>10/24~11/22 蠍座 【全体運】サービスピ精神が開運の鍵。面倒見の良さを発揮することで、少しずつ人気運が高まりそう。地道な努力も必要【健康運】ストレスをため込まず、早めに解消して【幸運を呼ぶ食べ物】ニンジン</p> | <p>11/23~12/21 射手座 【全体運】向学心旺盛になり、夢中になれるものが見つかる気配。熱心に取り組んでみて、読書や発明を楽しむのも大賛成【健康運】体力強化やボディシェイプに励む好機【幸運を呼ぶ食べ物】ユズ</p> | <p>12/22~1/19 山羊座 【全体運】つまらない意地を張るやすい暗示。悪いと思ったら素直に謝るなど、誠実な言動を。開運にはガーデニングが◎【健康運】運動不足はNG。小まめに動くことと幸運【幸運を呼ぶ食べ物】ナメコ</p> | <p>1/20~2/18 水瓶座 【全体運】行動力がアップ。あれこれ考えているより、動いた方が手応えを得られそう。楽天的に考えることで好変化あり【健康運】疲労の蓄積は健康の大敵。十分な休息を【幸運を呼ぶ食べ物】カニ</p> | <p>2/19~3/20 魚座 【全体運】悪い方に考えやすく、運を逃す結果に。意識してポジティブ思考を。気晴らしにはヒーリング音楽を聴いてみて【健康運】心の安定を保ち、胃腸系トラブル回避【幸運を呼ぶ食べ物】サケ</p> |

モナ・カサンドラ / 古いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を拓いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>